

---

# Mounting & Maintenance

## Oversize Pulley Wheel Aero System

For Shimano Dura Ace 9100 + Ultegra 8000

Series derailleurs



**CERAMICSPEED**

# Maintenance

## メンテナンスについて

Oversizes Pulley Wheel (OSPW) のメンテナンスを適宜行いましょう。頻度は走行される地域の気候により変わります。

摩耗したチェーンをそのまま使用すると、プーリーホイールも著しく摩耗するため、チェーンが摩耗する前に交換してください。OSPWの点検は、雨天時の走行、洗車、



またはチェーンの潤滑後に行いましょう。通常のメンテナンスでは、潤滑部(3ページを参照)にオイルを一滴垂らします。OSPWを水平に保ち、オイルをプーリー内のベアリングに届かせましょう。

CeramicSpeed取扱店またはウェブショップにてご購入いただけます。CeramicSpeed.comのサポートページで、メンテナンスの紹介ビデオをご覧ください。

OSPWはバイク用トラベルバッグに適合しないため、遠征時にはリアディレーラーごと取り外して持ち運んでください。

## Extended Maintenance

### 拡張メンテナンスについて

拡張メンテナンスを半年ごとに行いましょう。その際は、OSPW AEROと左右 両側のシールをディレーラーケースから取り外し、ディグリーザーで全てのパーツを洗浄します。

その後、パーツを乾燥させ、Ceramicspeedのベアリング球にオイルを2滴垂らし、OSPWとシールを元の位置に取り付けます。

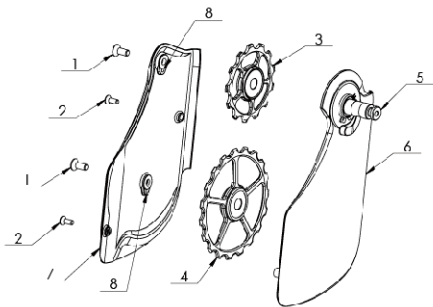
ケースプレートを取り外す際は、プーリーホイールボルト(3ページ参照)を2.5mmの六角レンチで、タワーボルトを2mmの六角レンチで緩めます。各ボルトを取り付ける際は、プーリーホイールボルトを1.5Nmで、タワーボルトを0.9Nmのトルクで締め付けます。その際はトルクレンチをお使いください。

雨天時やマッドコンディションを走行した場合は、追加メンテナンスをより頻繁に行い、All Round Greaseで各部を確実に保護してください。

# Mounting the CeramicSpeed Oversized Pulley Wheel System Aero for Shimano 11 Speed

## Pos. 名称

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | プーリーホイールボルト         |
| 2 | タワーボルト              |
| 3 | アッパープーリー            |
| 4 | ロワプーリー              |
| 5 | ケージピボット             |
| 6 | フロントケージプレート         |
| 7 | バックケージ              |
| 8 | プーリーホイール注油箇所        |
| 9 | DURA-ACE 9250用スペーサー |



## 必要なツール

Ceramicspeed OSPW Aero for SHIMANO(DURA-ACE 9250/ULTEGRA 8150)の取り付けには下記の工具が必要です。

- A 2mmアーレンキー
- B 2.5mm アーレンキー
- C チェーンツール
- D T10 トルクスドライバー
- E プラスドライバー(スクリューの回転を調整するため)

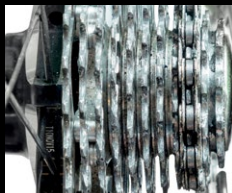


A B C D E

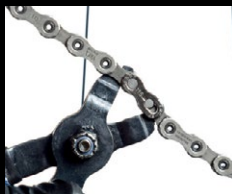
# Mounting Manual

## 取り付け方法

最高の走行性能を発揮させるべく、OSPWAERO (Shimano DURA-ACE 9250 / ULTEGRA 8150) を以下の手順に正しく従って取り付けてください。



1. バイクをスタンドに固定し、リアホイールを取り外します。



2. チェーンツールでチェーンを外します。  
OSPWを取り付ける場合には、新品の長いチェーンが必要です。使用済みのチェーンにリンクを追加することは推奨しません。



3. ディレーラー本体裏側にある黒色の取付用 T10 ボルトを T10 Torx レンチで外します。  
ボルト全長の半分までねじが切られています。ボルトを 1cm ほど緩め、ねじがかからなくなったら、指でボルトを引き抜きます。  
ディレーラー本体のケージを親指で押さえます。



4. ディレーラーをケーブル接続部の上側まで移動させ、ストップタワーがフリーになるまでケージを片手でわずかに引き、プーリーケージのスプリングのテンションを解放させます。  
このとき、ディレーラーケージの位置が上下逆さまになっているはずですが。



5. 元のプリーケーjとスプリングを取り外します。この時、スプリングとプラスチック製スペーサーを落として紛失しないように注意してください。



6. SHIMANOのケーjからスプリングを取り外したら、OSPW AEROの取り付けに再度使用するため、保管しておきます。スプリングの端は、プリーケーjに固定する為フックの形になっています。DURA-ACE 9250のインストールの際は、本製品に付属しているスペーサーを使用してください。

7. OSPW AEROを箱から取り出します。



8. ULTEGRA 8150にインストールする場合は、(5)で取り外したSHIMANOのスプリングとスペーサーを使用します。

取り外した際と逆の手順で、OSPW AEROの取り付け用ポストに戻します。スプリングのフックの端は、ディレイラーケーjとスペーサーの平らな端に合わせます。DURA-ACE 9250に取り付ける場合は、OSPW AEROに付属しているスペーサーを使用してください。

OSPWでは、H(ハイ)からL(ロー)まで4種類のスプリングテンションを選べます。

Lにセットすると、チェーンのテンションとスプリングの抵抗が減り、変速性能もやや落ちます。Hにセットすると、最高の変速性能を得られますが、他のセッティングよりもスプリングの抵抗がやや増えます。



9. Lの隣にある穴(2番目に低いテンション位置)を選び、フックを引っ掛けてスプリングを取り付けます。このとき、強く押し込む必要があるかもしれませんが。

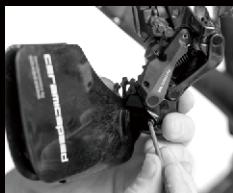
プラスチックスペーサーは、ディレーラー本体の裏側に合わせるまで、スプリングの上に載せておきます。



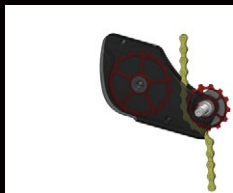
10. ディレーラー本体を回し、OSPWケージがバイクが前方を向いた状態で、ポストをOSPW AEROのディレーラー本体裏側に合わせます。スプリングとプラスチックスペーサーをディレーラー本体の溝に合わせ、ケージをディレーラーの奥まで押し込みます。OSPケージが滑らかに回転し、スプリングが正しい位置にあることを確かめます。



11. OSPW AEROケージをディレーラー本体に押し付けながら、ケージの突起がディレーラー本体の突起を通り過ぎてから噛み合うまで、反時計方向(バイクの上側、後ろ側、下側の順)に回します。



12. 手順3で取り外したT10ボルトを付け直し、ケージを固定します。締め付けトルクは1Nmです。これでOSPW AEROの取付けが完了しました。



13. ディレーラーを一番下までシフトし、後輪とチェーンを取り付けます。ケージを持ち、地面と水平になるようにします。

ケージの後ろからチェーンを送り、アッパープリーの手前でケージを出るようにしてチェーンの半分を引き出します。

※SHIMANO DURA-ACEまた、ULTEGRAのカセットには、M8100またはM9100のチェーンを使用してください。



14. チェーンが残りがねじれていないことを確認します。もう一方のチェーンの先端をケージの奥に送り込み、ケージの後ろからロアプーリーに巻きつけます。



15. 以下のチェーンの長さガイドに従って、適切な長さにカットしてください。チェーンを適切な長さに切断します。ディレイラー・ハンガーがディレイラー・ハンガーの位置が正確であることを確認します。

ディレイラーの上側と下側のストッパーを確認し、Bリミットのギャップを4~7mmに設定します。トリムを調整し、コグとプーリーホイールの位置がすべてのギアの組み合わせで変速が正常に行われることを確認します。

不明な点がある場合は、プロメカニックに調整を依頼してください。

# Chain length

## チェーン長について

以下の手順に従い、現在のチェーン長を測り、必要に応じて交換しましょう。



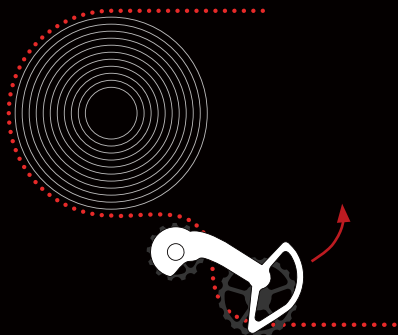
**STEP 1** チェーンをカセットのトップとフロントチェーンリングのローギアに変速します。チェーンを切って長さを合わせるときのように、チェーンの両端を引っ張り、適切なチェーン長かどうかを判断します。

正しいチェーンの長さを見つけるには、チェーンリングとディレイラーケーシングの間が一番下で、チェーンリングを引き、チェーンの両端を引っ張ります。2番目の図のように、ケージの下側がカセットから離れる形で下方へ動かそうとするはずですが。





- STEP 2 チェーンの両端を引っ張り、OSPWを2番目の図の位置に合わせてからチェーンを切り(手順1より1リンク分短い)、このギアの組み合わせ(常にカセットのトップにあること)に必要なチェーンテンションが得られる個数のリンクでチェーンをつなぎます。
- すべてのギアに適切なチェーンテンションがかかるようにします。



- STEP 3 チェーンを適切な長さに切ったらカセットのローギアに変速し、OSPWAEROとの間隔を確認します。ケージを半時計方向(図の矢印の向き)に回せるはずです。
- OSPWAEROのアッププーリーとカセットのローギアには、ある程度の間隔が必要です。この間隔が不十分であれば、Bテンションボルトを調整します。

# Up to Lifetime warranty

## 生涯保証について

CERAMICSPEEDは高い品質の製品を作り続けています。それでも不測の事態に備えるべく、CeramicSpeedは幅広い保証プログラムを用意しています。

### スタンダードプロダクト：4年間ワランティ

ボトムブラケット  
プーリーホイール  
ホイールキット  
ヘッドセット  
ベアリング単体

### COATED プロダクト：ライフタイムワランティ

COATED製品およびOSPWケージは、ライフタイムワランティ  
ボトムブラケット  
プーリーホイール  
ホイールキット  
ヘッドセット  
ベアリング単体

CeramicSpeedは、業界最高のセラミックベアリング製品の製造や販売に本気で取り組んでいます。お使いの製品がお客様のご期待に沿わず、かつその原因が素材およびまたは製造上の欠陥にある場合は、ぜひお問い合わせください。

弊社ウェブサイト ([ceramicspeed.com/support](https://ceramicspeed.com/support)) のサポートページより、ご購入いただいた製品を購入日から30日以内にご登録ください。  
その後、保証期間内に保証の申請が必要な場合は、同ページから申請をご提出ください。24時間以内にご返答を差し上げます。